

解放直後・在日済州島出身者の生活史調査（15・下）

—— 金慶海さんへのインタビュー記録 ——

藤永 壯／高 正子／伊地知紀子／鄭 雅英／皇甫佳英
高村竜平／村上尚子／福本 拓／高 誠晩

A Survey of the Life Histories of Resident Koreans in Japan
from Jeju Island in the Immediate Postwar Period (15) — Part III —
— An Interview with Kim Kyonghe —

FUJINAGA Takeshi, KO Jeongja, IJICHI Noriko, CHUNG Ahyoung
HWANGBO Kayoung, TAKAMURA Ryohei, MURAKAMI Naoko
FUKUMOTO Taku, KOH Sungman

歴史研究の道へ

《ハワイの梶山コレクション》

金：それもハワイに行ったから，辞めたからね。

——映画みたいな話ですね

金：もう映画，地でいくよ。

——ハワイって，何しに行ったんでしたっけ？

金：梶山コレクション見に行ったんや。これこれ。これ全部梶山コレクションから持って

平成27年6月29日 原稿受理

大阪産業大学 人間環境学部文化コミュニケーション学科教授

きた資料や。これでね。

——ハワイ大学か、なんかにあるんですか？

金：そうそうそう。知ってる？

——梶山季之*²⁴。小説家の。

金：「李朝の残影」「族譜」とかね。

——梶山コレクションがハワイ？ 『朝鮮人有力者名簿』？

金：うん。これはね、1920年代の、いわゆる、旧満洲で活動してた、朝鮮人の活動家らの名簿なのよ。

——わ、手書きや。写したんですか？

金：そうよ。あ、それは手書きか。原本どっかにあるはずや。原本はよく見えないから、手で一々写して読んだんよ。

——その時はコピー機もあんまり性能が……。

金：悪かったんよ、性能は。ほんまに往生したんよ。

——そのために、あそこ行ったんですか？

金：ハワイ大学行った。朝鮮籍でハワイ、ハワイ＝アメリカやからな。行ったの、僕、最初なんよ、あの時。記録的問題なのよ。大問題なのよ。

——パスポートなく、どうやって行ったのかな？ 再入国の。

金：再入国許可書、もらわな、あかんけども [もらわなくてはならないけれども]。その前に日本の外務省が言うたのは、入国許可書も取ってくれって言われたんよ、アメリカの国務省の。そら、当然やな。

だから神戸の米国領事館行ったらさ、はじめ断るやん。「朝鮮籍は敵国です、あきません」言われた。「是非とも行って見たいものがある」と。「なんですか？」「梶山コレクションです」「それなんですか？」言う。領事なんか分からへん、そんなことは。とくとくと説明したら、分かったと。で、問い合わせてみると。神戸領事館、何十回行ったか。このパスポートもらうために。

最後にパスポート出た時に、領事に「金さん、あんたの資料これくらいありますよ」。1センチくらいの厚みのファイル出しよったんよ。国務省との間に往復した書簡や。

で、梶山季之というのが、ライフワークとして「積乱雲」という小説を書く予定やったんやて。夏に出てくる雲ね。3人兄弟の動きを考えてたわけ。ひとりは、日本広島、ひとりは朝鮮、もうひとりはハワイ。3人の兄弟がどのように生活したか。書くために、書こうと思ったら、金がいるやん、資料集めな、あかんから。それで書いたのがポルノ小説なんだって。ポルノ、「黒の試走車」[1962年に発表されベストセラーになった産業スパイ小説で梶山の出世作]とか書くわけよ。ポルノ小説ものすごい書いとるねん。だから始めは嫌いだったよ、梶山季之なんか。こんなやつ、思ったけど。

——梶山季之ってポルノ小説家っていうイメージがあった。

金：も、有名やね、そんなん。それ知ったから、梶山季之、大したもんやと思うんだけど。違うのよ。後で奥さんと会うたらね、薄っぺらい10ページもならんのに、何十万円払ったの、あるっていうねん、その資料買うために。資料もって売り込みに来るわけね、うん。ほんだら10ページもならんやつ、何十万円払った場合あったって言うねん。その値打ちするから、こないなるねん。

で、ハワイ大学に、梶山コレクションが行ったと、報道されたわけよ。読売新聞が報道したんよ。

——なんで、ハワイ大学になったんですか？

金：日本では受け入れられなかったんよ。ポルノ作家だから、敬遠やったわけよ。でも彼の収集した朝鮮関係の資料っていうのはものすごい。あれ、どこにもないんだもん。

《教員辞職の経緯》

——^{キムキョンヘ}金慶海さんは、なんで、高校辞めることを取ったんですか、そっちを優先して？

金：歴史、勉強したくなってきたから、あのころは。歴史、もう勉強、こんなになってから。在日朝鮮人、資料あるてこと[あるということ]を読売新聞が報道したからさ、もうどうしても見たかったわけよ。1920年代の満洲による朝鮮人指導者というテーマだからさ。カチンと来るの、だれか分かる？

——^{キムイルソン}金日成？

金：その親父。1920年代、満洲、朝鮮含めて、朝鮮の独立運動の最高指導者としての^{キム}金^{ヒョンジク}亨稷ってことになってるやん。今の北朝鮮の歴史では。

——ああ、そうなん？

金：これ、教科書。朝鮮学校の歴史の教科書。そういうふうに書いてます。^{キムヒョンジク}金亨稷が最高指導者になっている。1920年代。

——それはなー。

金：いや、あなた、今だから言うのであってね。70年代、80年ころ誰も疑ってない。

——教えてたんですね、そうやって。

金：でも、もうすでに疑問を持ってたけどな。^{キムヒョンジク}金亨稷が指導者か？ 確認したいな、と。そんな時ちょうど、こんな新聞報道だったから、もう絶対見たい。もう、どんどんどんどん募っていくわけ。夜も寝てられなくなる。

で、総連県本部に、一応教員だから、筋を通して、電話せなあかんやん。ハワイ行つて、梶山コレクション見たいから、許可してくれと。領事館に行ったら断られるし、困っちゃってると。もちろん総連県本部も反対するやん、行くなつて言うて。敵国になんで行くん？ 俺はもう歴史屋として意識しちゃってるものだからさ、是非とも、事実がどうだったか、見たいと。総連の方は黙っちゃうわけ。

今度はハワイ大学の問題や。で、領事が教えてくれたのはね、大学からの招待状があれば、考えましようっていう程度なのね。ちょっと折れてくれたんよ。それで、大学の総長に電話、手紙入れたんよ。総長の下、あの、^{カンヒウン}姜喜雄って人、おったわ、韓国人で。高麗時代の研究者や。李朝の前の高麗。この研究者が出てきたから「ならば総長と掛け合いましよう」と。そしたら、総長の名前で招待状送ってくれたわけ。嬉しかったよ。

その招待状添付してから領事に出して。領事も反対する口実なくなってくるやん。それでまた、通信行ったり来たりしたんやろね [いろいろなやり取りがあったのだろう]、ワシントンに。最後に、6月か7月に「どうぞ」言うて、パスポートを発行してくれたんや。は一、何カ月かかったか。

——^{カンヒウン}姜喜雄さんもすごくよく協力してくれましたね。

金：^{カンヒウン}姜喜雄って知ってる？ ハワイ大学の歴史学者なんだけど。まだ生きてるかな。

姜喜雄^{カンヒウン}さんが掛け合ってくれて、やってくれたんだけども。で、その時、パスポートもろて総連県本部に行ったんや。それで最後に言われたこと、なんやと思う？ 帳面出されたんや。行ってもいい。そのかわり、行って見て聞いたことは、一切帰ってきてしゃべるな。ならばいいと。

——何しに行くの。そら、すごいですね。

金：うん。一切しゃべれないやん。もう一つの条件は、行かなければ、おまえの好きなほど朝鮮学校で教員してもいいよと。どっちか選べというわけや。その時俺は燃えちゃってるもんだからさ。歴史勉強したくなってるから。俺は見に行きたいよ。

総連もだいたい、うすうす感じてたんやね。金亨稷^{キムヒョンジク} [の歴史] が嘘だということは。俺は行ってみたいと。許可してくれ、だめならいいよ、言うて。腹くくっちゃったよ。すると、もう総連、黙っちゃって。ほんで行って来たんや。明るる年の3月、辞表出して辞めたんや。あの時ね、よかった、嬉しかったんが、教え子が、当時金、どれくらいかかったんか。

——ああ、言うてはりましたね、お金集めて。

金：うん。今やったら、もう、何十万でできるけど。当時ハワイ言うたら、もう。宿泊、ホテルにしたって、ペーパーのホテルで寝られへんやん、危ないから。何十万円を教え子らに寄付してもらったんや。みんな喜んでくれたね。朝鮮籍でもアメリカに行けるんだと、実証しちゃったもんだから。それ以後、朝鮮籍の者、ものすごいアメリカに行き出すやん。

——この方法で行けるっていう……。

金：そうそう、それやったんよ。あれ、ええ格好して、バーンと辞表突きつけて辞めたんや。それがまた、歴史の曲がり目の一つ。

ほんで、ハワイに行く前に、大谷昭宏 [元読売新聞記者、ジャーナリスト] と、俺の先輩と、飛田 [雄一。現・神戸学生青年センター館長] さんと、3人で遺言書、書いたんや。帰ってくる期限過ぎても帰って来てなければ、こうこういうことがあったと思ってくれ、と。ということで、かりに俺の名前で電話あっても、おかしいと思ってくれと。電話なければ、もっとおかしいと思ってくれと。ほんで、救援活動してくれと。そういう遺言書残して行ったわけよ。

ほんで、帰ってきた、その大谷昭宏と会^おうたその日、昼からビール飲んだんよ。彼は

職務中やのに（笑）。飲みながら、はい、返しますよっ言うて、遺言書返してくれたんや。

——それで手元にあるんですか？

金：それ、一回破ったんだけど、これ、記念に残そうと思ってな、またセロテープ貼って残した。

ほんま、あの時はね、命がけよ。在日朝鮮、朝鮮籍で行ったから、ものすごい怖かった。着いたその日から、帰ってくるまで。ピリピリしてたよ。韓国領事も会おうって言うたけど、断ったしさ。

《ハワイの同胞の苦難》

——^{カンヒウン}姜喜雄さんですか、その方は会ったんですか？

金：そら、会わなあかんから。大学総長も会わなあかんしね。招待してくれた人だから。ちゃんとおみやげもあげたけれども。でも韓国領事とか、韓国系の人はいっさい会わなかった。会って万が一、なんか揚げ足取られたら、えらいことやもん。……別の可能性あるもん。

でもね、韓国人の教会は行ったよ。^{ヤンノウウン}養老院も行ってみた。それがね、帰ってくる一日か二日前だったから、お金もないのよ。1万円でも寄付したかったんだけど、1銭もできずに帰ってきた。あれはもう胸刺さってるね。ハワイ行ったことある？

——ああ、ちょっとだけ行ってきましたね。

金：ああ、そう。パイナップル工場行った？

——ああ、はい、行ってないですね。

金：砂糖きび農場は？

——そういうところは行ってないですね。

金：それは行ってみな、あかんよ。

——いや、私もハワイは一度行ったことありますけど、全然そんな。たぶん韓国系の移民が行ったとこ？

金：もう1900年代入ったあたりから行ってるわね。1902年ころからもう行ってるのよ。

あのね、砂糖きび畑とかパイナップル農場とか行ってみる必要がある。私、二つとも行ってみたけど、あーれはもう。5分もたないね。パイナップル農場の場合は、影になるもの一切ない。カンカン照りの光と地熱。ムウっとね、むせるよ。あの、砂糖きび畑行ったんよ。こらもう大変よ。働いている人見たらね、目だけ見えるねん。全部覆い隠しとんねん。暑いん違うかって聞いたら、それが涼しいちゅうねん。日が当たらないし、地熱受けないから。あれはね、5分もつたらええと思う。おれはあそこにね、何分か立っただけど、あんなところで働いてたら、奴隷労働よ。

—それは移民が行ってたからって聞いてたから、知ってたから、行ったんですか？

金：うん、^{カンヒウソンセンニム}姜喜雄先生が連れて行ってくれたんよ。1世がどんなことしたんか、見てくれと。あんた、だから^{カンヒウソンセンニム}姜喜雄先生偉いと思うよ。偉いよ。あのパイナップル農場と砂糖きび畑は、あれは耐えられないよ。絶対にハワイ行ったらそれ見る必要ある。体験する必要あるよ。1世らが、どんなに苦労したか。長田のゴム工場で働くなんか、問題にならん。あんなん、ちよろいもんよん。何分かおったけども、汗トロトロトロトロよもん。

そういうところで耐えて働いた人のね、養老院があつてさ、教会のすぐ下に。で、行ったのが[日本へ帰る]一日か二日前や。1万円やる寄付する金がなかったんや。これ、帰ってきてから、ものすごい良心の呵責感じてね、後で郵便で送ったんよ。あの1世ら、もう皴くしゃくしゃや。腰は曲がってる。あー、この人らはよくやったなーって思ってた。俺、ほんまに涙出た、あの時。

で、彼が自慢するのは、ハワイで一番大きな教会は韓国人の教会やって言うわけや、うん。で、そこの続く養老院でこの人らですと。俺はほんまにハワイ行って、そういう面ではものすごい、ええ勉強したよ。在日コリアンなんか、あんなん、チョロいチョロい。あんなん問題ならん。ほんまよ。ハワイの1世らは苦労したん^{ちや}違うか。

—そこで、韓国から来てる、まあ1世たちはそんな植民地になる前やけど、教会の人たちは韓国から来てる方？

金：そう。でも教会はすでに植民地時代からあつたんや。^{イスンマン}李承晩とか^{パクイルマン}朴一萬⁵⁾とかやってた。彼ら、抗日運動指導するために教会利用してるわけ、ものすごく。

5) 朴一萬は、1929年に中国東北地方の吉林省で、洪震、黄學秀、李青天、金佐鎮、李章寧、金昌煥らとともに独立運動団体「生育社」を組織した独立運動家であるが、金慶海さんの語る「抗日運動指導するために教会利用」したという点については定かではない。

——そういう人が、朝鮮学校の先生、朝鮮籍の人が来たって行って、反応は？

金：それは分らん。開放してなかったから。

——単に僑胞^{キョポ}が来たという話で？

金：俺も心の準備、精神的にはそこまで許されなかった。もうおどおどするだけだったもん。声も掛けられなかったよ。もう見てたらさ、目が澱んじゃって。気力もなくしてる老人ばかりや。何を話せるの？ でも、あの、尼さんってなんて言うの？ 修道女言うのか。ら、とか、牧師は会^おうたりしとったけど、それはもう公式的な話ばかりや。いやーあの人ら、言うてもね、大変だった。ほんまに俺は、砂糖きび畑とパイナップル農場見てから、ハー。

——でも最初の1世代が、行った人たちは、もうそこにいないでしょ？

金：うん。養老院におったわけや。

——養老院にその1世代の人たちがいた？

金：1世代の人らは [いた]。

——だって2世とか3世って、そこに行った時の2世とかは、ほとんど……。

金：その人らも歳によるわけや。ホノルルで商売してる、ほとんどが。

——ほとんどは、もう韓国語もできないし。

金：できない。

——ほとんどは、全然韓国系やという意識もないし。

金：あるのはある。

——コミュニティなんてないって言うてた人たちやから。後の韓国人は、70年代に来た人たちはコミュニティもってるけど。

金：俺が1980年行った時にね、ホノルル空港下りて、タクシー乗ったんよ。ちょっと隣の人としゃべってたらさ、バックミラーみながら「교포^{キョポ}님^{ニミ}이^요 (僑胞の方ですか)？」って言うわけ。ええ?! びっくりしたよ。

—それは韓国から来た人でしょ？

金：だったんよー。2世だと言ってたよ。で、聞いたんよ、若く見えたからね。「자네는 ^{チャネン} 여기서 ^{ヨギソ} 났나? (君はここで生まれたのか?)」「그렇습니다 (そうです). 여기서 ^{ヨギソ} 났습니다(ここで生まれました). 예순입니다(60歳です)」。あの時でもう60くらいだったかな。

—ということは30年代生まれやからね、そうですね。

—それでね、ハワイへ行った時、英語の先生と一緒に行ったでしょ？ 英語の先生も、やっぱり辞めはったんですか？

金：辞めた、一緒に辞めた。

《転換点となった1980年前後》

—その後、その先生は何してはるんですか？

金：なんか、商売やってる。あのね、1980年前後っていうのは、在日朝鮮人がもう転換期なの。朝鮮総連バイバイ、さよならっていうムードが漂っているわけ。

—えっと^{キムピョンシクサコン}金炳植事件*25とかあった時？

金：の、直後だから。で、北の政治の間違いも分かってきたしね。て言うのは、在日朝鮮人の教員らが、ずいぶん北に行きだすわけよ、70年代から。現実を見てくるやん。ほんなら、今まで教わった、聞いたのと違うね、と。実際見てくるから。それは神戸朝高の先生の場合もそうなの。何人か行って来てるわけ。そしたら学校内では本音しゃべれない。

でも神戸朝高のある、海は、垂水の海なのよ。それとも須磨まで行って、須磨の海岸で、飲みながら、本音しゃべるわけよ。実はな、朝鮮新報 [朝鮮総連の機関紙] で書いてる、あんなに書いてるけど、公式の場所でこんな、こんな言うのとるけど、俺の見た、聞いたのとは違うよと。北っていうのは、こんなふうな国やと。^{キムイルソン}金日成の政治も、^{キムピョンシク}金炳植のもおかしいぞ、と。

それで、僕辞めた時に、6, 7人いっぺんに辞めたんだ。それもみなベテラン教員ばかり。俺の先輩はじめね。ベテラン教員らが一齐に辞めちゃったの。これは大きなショックだった。これはね、神戸朝高だけじゃなくて、兵庫県内もそうだし、全国でそういう傾向あったよ。もう^{ピョンヤン}平壤離れ、朝鮮離れはじまるとるねん。あの政治は間違ってる。在

日朝鮮人運動はおかしいと。そういう時期だった、1980年ってのは。

——それは、そういう意味で言うと、^{キムビョンシク}金炳植が、以前、その以前に、その総連組織を要するに一つのトップダウンのそういう形にしたということの、反動とかじゃないんですか？

金：それもあるけれども、^{キムビョンシク}金炳植の一番大きな罪は、^{キムイルソン}金日成を偶像化した。

——^{キムビョンシク}金炳植って人はどういう人だったんですか？ 何をしてた人なんですか？ ^{ハンドクス}韓徳銖の婿やったんだけど。

金：第一副議長までなるのよ。

またね、^{キムビョンシク}金炳植の存在価値があったのが、^{キムイルソン}金日成主義を外国で宣伝したのは、彼が最初なのよ。まだ北ではそんなこと言うてなかったんよ。それを^{キムビョンシク}金炳植が、^{チュチュエササン}主体思想とかさ、^{キムイルソン}金日成主義というのを宣伝したのは、^{キムビョンシク}金炳植なのよ。

——ちょっとね、違う展開があればね、おそらくね。あの時代の、^{キムイルソン}金日成の^{キョシ}教示から始まらない研究は許されなかったから。

金：そうなのよ、その通り。お寺の坊さんが、お経を読むのと同じようにする。

——^{キムイルソン}金日成主席がこう言いましたって言うて、そこから。

金：それ丸暗記させられるわけや。先生らがそれしたら、どないなるのよ。自分の専門を勉強せなあかんのと違う？ 理科なら理科の勉強をね。歴史なら歴史の勉強をね、させなあかんのに、それは二の三の次[の]時だからさ。^{キョシ}教示の勉強をさせるわけ。例えば、^{シンニョンサ}新年辞なんか出たら、何千文字や、丸暗記させられるわけ。そんな暇あれば、数学の解き方でも教えなあかんのと違う？ 全部そっちのけ。で、だんだんだんだん、朝鮮学校の先生が離れていくわけ。あれで貴重な頭脳の流出が始まるのよ。

あの時の老練な先生ら残っていれば、今の朝鮮学校、変わってるはずよ。ものすごいもったいない。さっきも言うた時に僕が辞める時、僕の先輩ら、半分くらいおったんや。その人ら、一緒に辞めてもうた[辞めてしまった]もん。この人らだったら、ものすごい頭脳の持ち主や。ほら、すばらしい頭脳だったよ。

——熱意もね？ 子どもたちに対する熱意もね、すごい。

金：普通じゃない、あの人ら。もう燃えてたもん。その人ら、^{キムイルソン}金日成万歳しちゃったもん

だから、さよならやったもんだから。朝鮮総連なんて大打撃よ。

——辞めた方は、その後、何をして？

——こうやって^{キムキヨンヘ}金慶海さんみたいに物書いたり？

金：というのもおるし、もうそら少ないね。書けない。

——パチンコ屋の店員したり。

金：うん。俺みたいに、パチンコ屋の店員したもん。

——私の知ってる、私を^{ソンセンニム}教えてくれた先生はそうしてはったから。

——すごい、それでほんと、すごい貴重な頭脳っていうかね。

金：それはおもしろいよ。俺はね、神戸市内あちこちでパチンコ屋に勤めたけど、ほとんどやったことは、金の計算ばかりや。まじめそうに見えるから〈一同：笑い〉。金の計算。

——ごまかすように、お金をごまかすようには、見えないから。

金：そうそうそう。そういう意味。有り難うございます。有り難うよ。金の回し方知らんもん、朝鮮学校の先生ってのは。その前に純粋培養されてるから。金の計算たてに[金勘定ができるので]俺仕事したんよ。

あの時なんか、俺に対して全然関心もなかった奴が来てからさ、大学の同窓生が来てから、俺がやってるの見てるわけよ。俺、時によっては、10円足りなければ、鍵もって走りまわらなあかん、ホール。それも見てる。夜なったら、俺、金の計算するやん。1円の間違いまでせな、あかんからな。それも見るわけや。こいつなんのためにここ来たんや。カリカリってきて。完全になめとるのよ。俺は食うのにあくせくしてる。必死のパッチや。そんなこと、こいつは知れへん。それは働きながら、子どもらの学費払ったもん。

あー、あの時はつらかったよ、パチンコ屋で働く時は。十何年働いたもん。しんどかった。社会的にどのくらいなめられたか。ある時なんか、教え子の親が来てさ、おまえ、なんでここにおるんじゃーって。俺の息子を偉そうに教えたくせに！ そこまで言われたことあるよ。じっと我慢の子よ。子どもら食わせなあかんから。その信念だけ。

でも俺、神戸離れなかった。離婚した後だけどね。いろいろあるからさ。兄貴と同じや。一番上の兄貴と同じや。神戸離れたら俺もう負けになるから、神戸で踏ん張ったよ。それでもこつこつやったのが、新聞、1週間に1回休みあるやん。図書館に通って朝鮮についての報道記事、一つ一つ拾い集めたり、これが今まで溜まったんや。一番の宝物。

この新聞。

《新聞コレクション》

——ねえ。すごい量。19世紀っていうのがすごいですね、これね。

金：そうよ、朝鮮が開港する前からあるのよ。

——鎮西日報って熊本？ 広島？

金：長崎。その鎮西日報には、朝鮮が開港する前から記事持つとるから。

——長崎って言うたら、漁業関係の記事とか載ってるんですか？

金：朝鮮は、食べるためにね、日本人らがどのくらい多く調査研究していたか、出てくるよ。

——鎮西日報とか門司新報とか、行ったんですか？ 関西にあるんですか？

金：長崎まで行ったんやがな。コピー代なんぼしたと思う？ 一枚100円だったんよ、あの時。1週間でも寝泊まりしながら。どんだけ金使たか。こんな苦労なんか知らへんやん。それで、作って、^{チェジュド}濟州島についての本はこれやね。これの元はこれなのよ。これの倍以上あるの、ここに。

——これは翻訳と両方。うわー、ハンゲルと。

金：これの倍以上ここに入るとるのよ。^{チェジュ}濟州についてのこの記事。^{イジュス}李在守の乱*26とかね。あれも、向こうで論文出たよりも、これの方が多いねん。日本の新聞はよう調べてまっせー。どんなに粗い調査研究してるか。そろもう、日本史も惚れるよ。そら、素晴らし。はー、よう研究してる。また、植民地時代の^{チェジュド}濟州島の気象観測の記事も、ここにあるわけ。^{チェジュド}濟州島の人、誰も知らない。よう調べてる、こいつら。朝鮮開港する前から来てはるからね。

僕のコレクション、これはもう宝物だったよ。これ、嬉しかったのはね、最近までこれの存在価値知らんかったんよ。だらね、2年前か、3年前か、親日派糾明委員会*27あるやん。そこのメンバーから連絡あってさ、尋ねたい、言うて。いいよと。俺、親日派研究してるから、言うて。^{パクヨンヒョ}朴泳孝*28の研究してるからな。で、来たんよ、ここまで。珍しい奴やなと思ったな。ほんで名刺見たら、親日派糾明委員会調査委員ってなるとるねん。俺、親日は研究しとるけど、俺、朴泳孝の研究してるんよ。あんたと敵対するん

と違うか、と。いや、敵対するから、みたい言うわけや。それでこれ、ずーっと見てからさ。全部うちにくれないかっていうわけ。ええけどもって言うて、悩んで、サインしちゃったわけですよ。ゼーンぶ、持って帰った。日本でコピーしたらコピー代高い。自分らやったら安いって。徐民教^{ソミンギョ}いう人だけども。

——親日派真相糾明調査委員会にね。

金：彼が来たわけや。二度見てから、全部持っていったんや。契約したのが、240万円くらいかな。で、これ、コピー代もらったんだけども。で、どないすんねんって聞いたら、他の人が、部外者来たら、コピー代取ります。その前に金先生の許可取ります。じゃなければ、コピーさせません。有り難うって言うて。敬意をしてくれたんやって（笑）。

——韓国もちょっとマシになりましたね（一同：笑い）。

金：ちよつとな。著作権の、そんなん、あるけれど。一応、僕の所有物だから。嬉しいよー、そこまで敬意をしてくれたね。全然無名の人間に対して、ここまで敬意を表してくれた。うれしいよ、俺は。

——で、これじゃあ、親日派 [真相糾明委員会] が持っていったのは、これ全部なんですか？

金：その、175冊、持っていったわけ。それから190なったんや。それ以後、25冊 [15冊の言い間違いか?] 増えたんや。この門司新報とか、その上にある時事新報なんか、彼は持って行ってないわけ。

——その後ののは？

金：その後に俺、収集してるから。全部収集したら、時事新報、今やってる途中だけど、200冊超すはずやねん。だからね、近代の朝日関係史、裏の裏、出てくるわけ。おもしろいでー。ほら、もう、わくわくするくらい。朝鮮が併合されるまでの時期の歴史で。

——それ、あの、だから、亡くなったらどうするか、ちゃんと書いとかなと、急に亡くなるってあるから（一同：笑い）。

金：亡くなるってあるわな（一同：笑い）。

——青丘文庫 *29 にその、寄贈するとかなんか書いて下さい（一同：笑い）。

金：いや宣言した。おれ、息子に言うてあるんよ。俺が死んだら、これ全部神戸市立図書

館に寄贈せえって。

——これはすごいですね。

金：これは、何千万かかってるもん。コピー代がどのくらいかかったか。見ず知らずのうちにね、僕が最初にやったのは、一番目の神戸新聞なのよ。二番目が大阪朝日新聞や。神戸新聞はものすごい、コピー漏れがあったわけ。全部収集し直した、何年〔も〕かけて。もうほぼ完璧。で、今、大阪朝日新聞収集し直してるねん、そこで書いているように。これ、見てたらさ、抜けてるの、いっぱい出てくるねん。で、あそこに置いてあるけれども、あその上の段だけでもね。それで、今収集し直してるわけ。やっぱり抜けてる。五分の一くらい足してるねん、今。

^{バクヨンヒョ}
《朴泳孝研究へ》

——意識的に1910年までを対象にやろうっていうふうに考えておられるんですか？

金：そう。^{バクヨンヒョ}朴泳孝を調べたかったから。だから今の僕の研究対象は^{バクヨンヒョ}朴泳孝だけなのよ。なぜ彼が親日派になっちゃったか（笑）。

——なってしまったか？

金：うん。それをずーっと追究しだしちゃったわけよ、いろいろあって。ほんたらどうしても1910年くらいが、彼のヤマだから。だからもう、全ての新聞、1910年まで集め調査しだしちゃったんよ。

——^{バクヨンヒョ}朴泳孝さんの孫娘さんと、朝鮮王朝のあの、^イ李なんとかさんが結婚したんですよね。

金：そう、^{イウ}李鍋いうてね。彼はあの、^{バクヨンヒョ}朴泳孝の娘の旦那さんなんよ。この^{イウ}李鍋いうのは、広島原爆で死んだるねん。

——被爆者やねんな。

金：陸軍中佐かなんかなん〔何かになった〕。あの、広島、載ってたんや。俺、知らなかった。俺、そのいきさつがわかって、俺もういっぺん行ったんよ。ほんなら平和公園の横にある、やっぱり^{イウ}李鍋って載っとる、陸軍中佐として。だから、^{バクヨンヒョ}朴泳孝の^{サウイ}婿や。

——え、それは、^{イウ}李鍋っていうのは、李王朝の^{ゴジョン}高宗、^{スンジョン}純宗の？

金：高宗^{コジョン}の息子の子どもなのよ。高宗^{コジョン}の孫になる子と、朴泳孝^{パクヨンヒョ}の孫娘が結婚する。だから、高宗^{コジョン}の息子っていうのは、義和君^{ウイファグン}*30 いうんだけどね。의화, 正義の「義」と平和の「和」って書くんやけど。これと日本に一緒におったんや。ものすごい仲良かった、この二人は。朴泳孝^{パクヨンヒョ}の方が年上だけど、義和君^{ウイファグン}は王族だから、敬意を表するわけよ。僕も記事ずーっと見てもね、義和君^{ウイファグン}は年下だけど、いばっとるんよ、朴泳孝^{パクヨンヒョ}に。これね、徹底してるね、朴泳孝^{パクヨンヒョ}の場合は。

——その義和君^{ウイファグン}の息子が、え、朴泳孝^{パクヨンヒョ}の婿^{サウイ}ですか？

金：そう、婿^{サウイ}なわけ。朴泳孝^{パクヨンヒョ}は徹底的な君主論者ね。君主主義者。死ぬまで、王様奉るわけ。徹底して奉る。面白い話、あの、1907年に彼は最後に帰国するんだけど、高宗^{コジョン}に会うわけ。高宗^{コジョン}はあの、ハーグ密使事件*31でクビなる[退位させられる]直前^お。会った時ね、彼は帽子かぶって出るんだけど、ここに留めるやつあるやん。留めるやつが、翡翠だったのよ。翡翠で留めてたのよ。

これ、意味が分からなくてな。日本の新聞でそれ報道してたからな。景福宮にある、民俗博物館か。そこの研究員に聞いたんよ。翡翠ってどういう意味があるんやって。そしたら、ニタニタ笑いながら、その人かえしてきた。ものすごい問題があります。王族は貴金属だってね、ここ留める。貴金属は王族しかだめなのよ。翡翠は何やって？ それはものすごいだって。それは石の硬さで決めるんだって。純王族は翡翠使います。朴泳孝^{パクヨンヒョ}は、これはみなそうやもん。朴泳孝^{パクヨンヒョ}は最初は駙馬[君主の婿または王女の夫を指す]、王族扱い、王の娘だからね。高宗^{コジョン}の上[前の国王]で、名前なんやった？ 高宗^{コジョン}の上は、哲宗^{チョルジョン}。哲宗^{チョルジョン}の娘もらってるからさ。

——[哲宗に]娘はいたんや。息子はいないから、高宗^{コジョン}が来た[次の国王になった]。

金：そうそうそう。永恵^{ヨンヘ}いう、娘だけどね。彼女を嫁さんにもらってるのよ。だから朴泳孝^{パクヨンヒョ}は王族に近い対応されてるわけよ。だから翡翠を付けて、高宗^{コジョン}に会ってるわけよ。高宗^{コジョン}王が見てからな、そんなのおまえつけてるんか、と。それで高宗^{コジョン}の心がガラッと変わっちゃう。それで朴泳孝^{パクヨンヒョ}は位を大事にしちゃうわけ[高宗は朴泳孝を重用することになった]。

それが2,3日のうちに、ころっと高宗^{コジョン}がクビになっちゃってからさ。朴泳孝^{パクヨンヒョ}もクビや。済州島^{チュジュド}にしばらく捕られちゃう。というのは、高宗^{コジョン}は退位させられるやん。伊藤博文の脅迫でね。ハーグ密使事件をうやむやにしようとしたから。で、高宗^{コジョン}は、俺は関係してないよと、あの密使団にね、俺、関係してないよと、言い張るわけよ。実際どうしたか

分らんけどね。影には宮内大臣の朴泳孝^{パクヨンヒョ}がおった。朴泳孝^{パクヨンヒョ}がハンコもって逃げてたわけや。ハンコ持って逃げてまわったら、ばれて、伊藤博文に。で、同罪や。高宗^{コジョン}、朴泳孝^{パクヨンヒョ}も。朴泳孝^{パクヨンヒョ}、おまえは島流しや。で、濟州島^{チェジュド}に行かされたわけ。

だから自分が濟州島^{チェジュド}行ったら事実を見たいだろう。家行ったやろ？ 朴泳孝^{パクヨンヒョ}はどこへ住んでたか、って言うて [濟州島^{チェジュド}へ行った時に朴泳孝^{パクヨンヒョ}の家を探した]。

——そこに今ある？

金：家の跡が残ってる [濟州市^{チェジュ}二徒2洞]。家の跡って言うてね、これより小さいか？

——石でちゃんと書いて。

金：残っとる。濟州^{チェジュ}に行く理由、それだったんよ。

——あの時か、2001年。

故郷濟州島への思い

《初めての濟州島^{チェジュド}》

——一番最初に濟州島^{チェジュド}に行かれた時は？

金：あの時な、4人で行ってからさ。1日だけ、俺はぐれたやん、墓参り行くのでさ。あの時ね、伯母^コさんの娘^モに会う前に、時間あったからさ、濟州市^{チェジュ}内に地下あるやん、商店街。時間、1時間くらいつぶすために、そこ歩いたんよ。すると、人少ないところ歩いたら、俺危ないと思ってさ（笑）。人がたくさんおるところなら大丈夫だと思って。で、地下街行ったり来たり、行ったり来たりして。10メートルくらい行ったら、振り返ってみて、10メートルやったら、また振り返って見て。で、行ったり来たりしたんよ。

——何が危ないと思ったんですか？

金：捕まると思ったんよ。

考えてみや。自動小銃持った警官が歩いてるんやからさ、空港を。そら、びびるよー、朝鮮籍だから。しかも、ここの領事館に俺、履歴全部書いたんや。もう朝鮮籍まるまるや。北、まるまるや。

—お兄さん、幹部やし。北にもいらっしゃるし。

金：そら、緊張、緊張、緊張。小便^{しょんべん}、ちびるくらいだったよ。あれは緊張したよ。俺、ほんまに2001年行く時は、命かけて行ったよ。あの時は緊張した。

—でもお墓参り行って、みんな暖かくしてくれたって言うて、喜んではりましたよね。

金：あれは嬉しかったよ。親戚らがね、金慶^{キムキョン}〇一族[金家で慶海さんの兄弟]っていうのは、バリバリの真っ赤っけやからさ。そののひとりが来たんや。親戚らどれくらい喜んでくれたか。嬉しかったよ。

—やっぱり直接会うっていうのがよかったんですね。

金：あれが、ハードだったけども、墓、あの墓ね。4個か5個ずーっと連れてまわってくれて。嬉しかったねー。祖先の墓参りっていうのは、ものすごい貴重ね。あれ、じーんとくるよ。今回な、すぐ上の兄貴行って喜んだん、それなのよ。充分理解できる。そら、この枝の親戚ら[分家]がここまで一生懸命やってくれてるのは、そら、うれしいよ。墓参りしたことある？

—ああ、ありますよ。

—この間、その、金慶^{キムキョン}海さんが初めて行かはるまでの間は、済州^{チュジュ}の、なんて言うんですか、繋がりっていうのは、日本の方ではもう全然ないんですか？

金：そう、大阪民団の団長しかない。

—ああ、親族の。

金：それも八寸か十寸[八親等か十親等]くらいや。これがもう済州島とツーカーだから。

—その人がだからあの、何番目かの家族墓地みたいなんで、石碑建ててた人がその人なんですな。

金：そうそうそう。

—たぶんその人が一緒にお墓を作ってるんですよ、その村の新興里^{シンファンリ}の地元の人と、その人たち、民団の人たち。

金：彼がね、何百坪の土地買うて親族一員[一族?]の墓を作ってくれたわけや。新興里^{シンファンリ}の小学校か、中学校かな、その学校建てるためのもんを寄付もしてもらった。で、彼の

名前書いてあるわけ。^{キムチャンヘ}金昌海いうんだけどね。大阪におったんだけどね。彼がいなければ、途切れているわね。でもおふくろの人徳に彼は惚れたんかな。もう彼は徹底的に総連嫌いな人だったけれども、おふくろとはつきあいしてくれたんや。

——^{キムチャンヘ}金昌海さんはずっと大阪？

金：ずーっと大阪。ゴム工場。

——^{キムキョンヘ}金慶海さんのお家は、誰もその^{シンフンリ}新興里の在日の親睦会とかには関わってなかった？

金：なかった。関わってなかった。その^{キムチャンヘ}金昌海さん通じてだけ。彼は金あったからさ、^{チエ}済州島のあちこちに金ばらまいてるやん。^{シンフンリ}新興里では無視できない存在や。もう一人金持ちおってね。^{キムボンガク}金奉角いうて、3・1記念館の。銅像、あるやん、^{チョチヨン}朝天に。行ったことある？

大きな3・1記念公園かなんかあるの⁶⁾。あの塔を建てるのに、金出したのが、何百万出したのがおるねん。うちの親戚なんよ、遠い遠いけどね。それも今度兄貴見たら、びっくりしとったもん。

——寄贈、寄付しましたっていう立て札が、^{キムボンガク}金奉角先生なんとかって。

金：うちの親戚はみんな愛郷心はあったわけよ。

——そういう人多いですよね。総連系ですずっとやってんだけども、地元の小学校にお金出すとか。

金：そうそう、そうそう。

——調査してる村でも見たことある。

金：^{キムボンガク}金奉角にしたって、総連パリパリだったから。でも自分には行けないからさ、人を通じて寄付してるわけよ。^{サムイル}3・1独立記念館っていうたら、これ名目立つやん。金出す名目立つやん。それで金出しとる。それで行ってみたら、確かに^{キムボンガク}金奉角って書いとる。あーいろいろあったな、韓国行って。ほんまに勉強なったわ。

《済州島の親戚との関係》

6) 済州市朝天邑の済州抗日記念館の敷地内に三・一独立運動記念塔があり、その記念塔の傍らに「金奉角先生功德碑」が置かれている。

——親族はまだ向こうにいるんですか、向こうに？

金：直系の親戚いない。僕の家族は直系 [宗家] だから。본가집 [本家] や。외가집은 [外家は]、みんなおるわけ。

——^{ウエガ}外家、^{オモニ}お母さんのところやね。

金：いや、^{オモニ}お母さんやなくて、僕の2, 3代上で、兄弟が二人おったんよ。うちはそのうちの本家筋だから。分家の人らが今、^{チェジュド}済州島におるのよ。その人らが墓守してくれてるわけ。

——だいぶ離れますね、そうなると。

金：だいぶどころか、^{バルチョン シブチョン}八寸、十寸や。でも。

——それでもよう守ってくれてますね。

金：嬉しいねー。あの人らはね、農民も、ええとこの農民よ。くそまじめな農民よ。真っ黒けや。拳がごつごつごつごつしてる。こんな拳違うよ。ものすごい太い（笑）。

——農家としてはかなり成功してるって言うか。

金：成功したんよ。

——その村、^{シンフンリ}新興里のかなり中心になってるみたいで。

金：今度行ってみたらな、^{キムミンボク}金民福、俺の甥っ子な。家の玄関に「^{キムマンヒ}金萬希*32 ^{チヨソンムンジュン}祖先門中」[正確には「金海金氏左政丞公派就聲公門中会」]って看板立てとんねん。^{キムマンヒ}金萬希っていうのは、僕の20代か21代上の入島始祖。その子孫やっていう看板や。それ掲げてたよ。嬉しかったね、うん。だからね、あの人らが、あいつ、あれより上、また他の人らがあって、俺より年寄りおっても、一応俺、本家筋だから、向こうが先に礼するねん。嬉しいんか、こそばいんか知らんけどな。

——家が全然手をつけずに、置いてあった？

金：置いてあった。

——ですよね。それは、やっぱり日本にいてはるから、自分らでは。

金：自分ら分家筋だから、それは絶対侵したらあかん。侵せない。

——もう、でも総連系やったらね、ほとんどがもう……。

金：うん。それをちゃんと守ってくれたから、嬉しいね。もう藁葺き屋、うちの家しかなかったもん。

——この間に、その新興里^{シンフンリ}の親戚の方との連絡っていうのはあったんですか？

金：なかった。

——全然？

金：あんたと一緒に行った時、その時が最初なんだから⁷⁾。

——その間はなかったんですか？

金：その何か月前に分かったから、行くよっていう手紙は出したよ。

——それが初めて？

金：実際に行ってみたのは、あなたと一緒にいったその時 [2001年] だけなの。それが最初なのよ。

——そっか、じゃあ、お母さん^{オモニ}がちょっと向こうの方に、向こうの戸籍のこととか、整理した後は、もう全然なくて。

金：交流なし。僕が直系の家族で最初に行ってるらしいねん。

——お母さんって北に行ったのはいつごろ？

金：兄貴の後に行ったん違うか？

——70年代？

金：だと思ふよ。

——その後はお母さんも連絡できない？

金：うん。

7) 金慶海さんが2001年に初めて済州を訪れた際、インタビュアーのうちの一人は同行している。

——で、連絡先は誰が持ってはったんですか？

金：あのね、それはまた、いろいろ事情があつてね。うちの家族と済州島チエジュドの間に連絡したのが、民団の大阪本部の団長やってた人がおつたんよ。

——ああ、親戚の人が？

金：親戚で、八寸か十寸くらいになるんよ。あの、枝バルチョン シブチョン [分家] の方なのよ。本家筋、違うねん、うちのと。で、その団長やった人が中に立ったらしいねん。それで、いろいろとお墓の草刈りとか、そんなん、さした [させた] らしいねん。俺あの、済州島チエジュドに行くよつて、その人に会いに行ったわけ。墓がどこにあるんか、誰と会うたらいいんかと。そしたら、この兄貴はものすごい怒っちゃつてさ。おまえ今さら何が墓参りやつて。ぼろんちよんに怒られて帰された、一回目は。でもどうしても墓参りしたいと、また行つたんや。そしたら誰それ会えつて言うて。ぼろつて言つてくれたんや。その名前が金民福キムミンボクなのよ。あの、甥っ子のな。それで、なんとか分かつたから、もう住所調べて、住所なんか、電話番号なんか、教えてくれへん、その兄貴は。ほんで、済州島チエジュド着いてから、もう調べもうたんや。それでようやく分かつて、連絡取つて墓参り行くよつて。そしたら、そつち、びっくりしたんや。

——何十年も音沙汰なく、急に出てきたから。

金：もう40年!!

——そらそうですね。

金：その甥っ子と [に] あたるものが、びっくりしちやつてさ。そして来たんよ。でもその時も、その墓参りする時も、朝バスターミナルで会うことにしたんよ。俺、行き方知らんから。その人は俺の伯母コモさんの娘にあたる人よ。親父の妹や、妹の娘。バスターミナルで会うた時おに最初の言葉なんやと思う？ 「ニドゥル バルガン セツキ テム ネ ウリ アイドゥリ 에 먹엇 단요 (お前らアカの奴らのためにうちの子らが苦労したんや)」。俺な、その言葉をね、あのバスターミナル、大きいところや。ものすごいでかい声でさ。「니 들 빨간 새끼 때문에 내 아이들이…… (お前らアカの奴らのためにうちの子らが)」出世できなかつたんよ。あれは、がくつときたね。話は聞いていたけどさ、実際、自分の身内がそんな目に会おうたんなんて思わないやん。ものすごい冷や水かけられたよ。

——特に^{チェジュ}濟州はね。

金：きつかったねー。それで、もうじーっと我慢して聞いてさ。その息子らが来て、お母さん、まあまあ、まあああって。で、その車乗せてもらって、^{シンフンリ}新興里行ったわけよ。そしたら迎えてくれた。嬉しかったねー。涙出たよ、ほんまに涙出たよ。1時間いて、墓をこうずーっとね、案内してくれて。あの墓や。全部、ちゃんと草むしりしてくれてるしさ。いやーっと思ったね。もう、墓、礼するたんびに、俺、涙流したんや。ほんまに嬉しかった、あの時。日本における兄貴ら誰も行ってなかったからね。俺が最初や。帰ってきて兄貴らに報告したら兄貴ら泣きよる。はー、まいった、あの時は。

《濟州島の財産相続問題》

——^{キムキョンヘ}金慶海さん、あのね、話がちょっと戻るんでけどね。長男さん亡くなったじゃないですか、85年に。で、今度、今回^{チェジュ}濟州行かれたじゃないですか。で、長男さんが亡くなったことは、戸籍にはいつ載ったんですか？

金：載ってない。まだ載ってない。

——まだ載ってないの？

金：証明しようがないから。北朝鮮で死んでるから。韓国は北朝鮮の書類はいっさい認めない。

——もう、連絡取れない。何年以上連絡取れないとか、そういうふうにするしかないんですね。

金：そう。そういうことなの。^{チェジュド}濟州島ではだめだと言われたな、相続は。

——^{チェジュド}濟州島では？

金：^{チェジュド}濟州島市役所〔朝天邑事務所か？〕行ったらさ。

——ああ、役場では。

金：役場では、相続できひん、朝鮮籍は。それ以後、ソウル行ったんよ。できるっていう記事が出たよ。ソウル、あの、法院、あちこち、転々としたんよ。回されたんよ。てんで、だめだった。後でね。で、ソウルに行ってな、転々とした後で、法律救済公団*³³かなんかあったんよ。知ってる？ そこに行ったら、これをはじき出してくれたんよ。

——「日本国官公庁が発行した外国人登録証の国籍に「朝鮮」と記載されている者が、在外国民登録法*34、謄本を添付せずに、不動産登記用登録番号を付与されるかどうか、の確認」……。

金：これで、在日朝鮮人だけでも、不動産を相続できる可能性があるかも分らんと、ソウルの法院の人が言うてくれたわけ。1パーセントなんかも知らんけども。可能性はあると言ってくれた。

——この小さい方が、問い合わせの結果、返事なんですよ。法務部かなんかの。「相続者が不動産登記用登録番号の付与を申請する時、申請書に在外国民登録謄本が添付されていない場合には、上の不動産登記用登録番号を、受けることはできない」……。

金：ややこしい言い回ししとんねん。

——だから、「朝鮮」と記載されている相続者の場合は、相続者がわが国の国籍を持っている在外国民である」……なにや、結局同じじゃないですか。だから朝鮮籍の人は、韓国民だから、在外国民登録をせえってということは、韓国籍にせえってことですよね。

——だから、朝鮮〔籍〕のまま、国籍を変えることなく、在外国民登録をすればいいねん。
金：今度やってみるつもりなのよ。

——で、登録できたら、そら登記はできますよね。

金：そしたら遺産相続できるわけよ。

——ここは、神戸はどこですか〔神戸の領事館ですか〕？ 大阪ですか？

金：神戸にあるの。神戸の人はあんまり分からんから、東京の。兄貴が東京におるから。一緒にいたすぐ5番目の兄貴が、に、行ってもらうようにしたんよ。もう、韓国大使館行きたくないーって言うてた。しょうがない、遺産相続しようと思ったら。

——相続せんことには、その後進みませんもんね。

金：そうよ。

——日本で登録する分には、もう、韓国政府としては番号されれば、いいって。前のことは、いいってことやね。

金：うん。韓国籍なら無条件。問題は朝鮮籍の場合はどないするんか、っていうことで。

——その時の人が、在外国民登録できるか、ここで。まだやったこと誰もないんよ。
金：いない。と、あの担当者が言うてたよ。

——そうやね。だいたい普通やったら、在外国民になるために韓国籍に変えて、在外国民になって、そういうふうな手続きを踏むのが常套やから、この朝鮮籍のままっていうのに固執する人たちは、あまりいなかったから。

——でもここに書いてあるのは、朝鮮籍と書いてある人は在外国民なんだって書いてあるんだから、在外国民登録してもいいという可能性はありますよね。

金：可能性は、1パーセントあるわけや。

——やっぱ専門家に聞くべきですね。

金：面白かったよ。あの、専門家もな、あの、その法律救済公団か。行ったらさ、初めの担当者がさ、なんで済州島^{チェジュド}で解決しなかったって言うんよ。済州島^{チェジュド}行って相談したら、ここに行きなさいって言うから来たんやって。もうふてぶてしい傲慢な態度やねん。もう在日朝鮮籍っていうのは、ものすごい複雑な問題があるのね。もう、ええ勉強したよ。

*本研究は科学研究費補助金（課題番号 24520782）の助成を受けたものである。

[付記]

- (1) 本稿上篇（本論集人文・社会科学編第23集、2015年2月、所収）231頁、注2）で「どのような新聞かは明らかにできなかった」と記した「ミタミワレ新聞」は、その後の調査で正確には「みたみ新聞」といい、戦時期の在日朝鮮人統制組織である中央協和会、およびその後身の中央興生会の機関紙であることが判明した。
- (2) 同じく本稿上篇、235頁において、金慶海さんは「西神戸朝鮮学校」へ通ったと述べておられるが、当時の正式名称は「西神戸朝連初等学院」である。ところで金慶海さんの知人の証言では、金慶海さんは生前、同じ建物内にあった朝鮮建国促進青年連盟（建青）系の学校（朝鮮建国国民学校）のほうに通ったと述べておられたといい、どちらが正しいかは判断できない。

【用語解説】

*24 梶山季之（1930～1975）

小説家・ジャーナリスト。ソウル生まれ。広島高等師範学校卒。1950年代末、週刊誌の創刊ブーム期にいわゆる「トップ屋」として活躍。その後は経済小説でベストセラー作家となり、推理小説、時代小説、風俗小説などを量産する。一方、生涯関心を持ち続けた朝鮮・移民・原爆などに関する蔵書7千点は、死後の1977年にハワイ大学図書館へ寄贈されて「梶山季之記念文庫」が設置された。植民地時代の朝鮮を描いた作品として、「族譜」（1952）、「李朝残影」（1963）などがある。

*25 キムピョンシク 金炳植事件

金炳植（1919～1999）は朝鮮総連議長・韓徳銖の姻戚（姪の夫）として、出世街道に乗り、1958年朝鮮問題研究所所長、59年人事部長、63年事務局長などをつとめ、66年にはついに副議長に就任した。総連内の非主流派（民対派）排除と、金日成－韓徳銖の排他的指導体制の確立に辣腕を振るう。しかし1972年に韓徳銖との対立が表面化し、金日成が韓徳銖を支持したことで金炳植は失脚、共和国へ召還された。金炳植の行ったライバルや批判者への監視、「自己批判」の強要によって、総連組織は硬直化し、大きな打撃を受けた。

*26 イジェス 李在守の乱

1901年に済州島で起こった民衆反乱。済州島では1899年にフランス人神父が派遣されて以来、カトリックの勢力が拡大していた。とくにこのころ島民への苛斂誅求で罷免された済州牧使の手先が多数カトリックに入信し、教会の保護を受けていた。そして済州島に赴任した捧税官姜鳳憲が、これらカトリック教徒を不当な雑税徴収に当たらせたため、1901年4月、これに反発する島民が大静邑で決起した。5月に李在守・呉大鉉・姜遇伯らが指揮する民軍は済州城を攻撃、カトリック教徒500余名を処断した。しかしその直後にフランス軍艦5隻が済州へ到着、また当時の大韓帝国政府からも鎮衛隊が派遣され、逮捕された李在守らは、ソウルで絞首刑に処せられた。

*27 親日反民族行為真相糾明委員会

2005年5月に施行された「日帝強占下反民族行為真相糾明に関する特別法」にもとづき、大統領所属機関として設置された。当時の盧武鉉政権が推進した過去清算事業の一環として、親日反民族行為の真相糾明を目的に、対象者の選定・調査、資料収集・分析、報告書

作成などの活動を行った。委員会は2009年11月、1005名の親日反民族行為を認定する報告書を発表して解散したが、ほぼ同時期に刊行された『親日人名辞典』（民族問題研究所編）とあわせ、「親日派」の選定基準をめぐって韓国社会に大きな波紋が広がった。

***28** ^{パクヨンヒョ} **朴泳孝** (1861～1939)

朝鮮の政治家。京畿道水原生まれで、本貫は潘南。朝鮮王朝第25代国王哲宗の女婿。金玉均・洪英植・徐光範らとともに、朝鮮の近代的改革をめざす開化派の一員として活動する。1882年、修信使として日本を視察し、このとき太極旗（現・韓国国旗）のデザインを考案したとされる。1884年12月、開化派はクーデター（甲申政変）を起こすが、清軍の介入で失敗し、日本へ亡命。1894年に甲午改革が始まると帰国して内務大臣となり、改革の中心的な役割を果たすが、1895年に国王高宗廃位の陰謀を疑われ、再び日本に亡命した。1907年に許されて朝鮮に戻り、李完用内閣の宮内部大臣となったが、大臣暗殺陰謀を理由に済州島に流配される。韓国「併合」後は侯爵に任じられ、朝鮮殖産銀行理事（1918）、東亜日報社初代社長（1920）、朝鮮総督府中枢院議長（1926）、貴族院議員（1932）などを歴任した。

***29 青丘文庫**

企業家であり歴史研究者であった韓哲曦（1919～1998）が、私財を投じ1969年神戸市須磨区に設立した朝鮮史の専門図書館。図書約3万点は1996年に神戸市立中央図書館に寄贈され、現在は同館の特別コレクションとして公開されている。とくに近現代史の文献収集に力を入れ、植民地時代の新聞・雑誌、民族運動史・社会運動史関係の基本資料集などが豊富に所蔵されている。また在日朝鮮人運動史研究会関西部会、朝鮮民族運動史研究会（現・朝鮮近現代史研究会）などの研究会を開催するなど、長く関西地方の朝鮮史研究の拠点としての役割を果たしてきた。

***30** ^{ウィファグン} **義和君** (1877～1955)

朝鮮王朝第26代国王高宗の五男（庶子）で、名は李垞。第27代国王純宗・李垞は異母兄、皇太子・李垠（英親王）は異母弟。1891年義和君に封じられたが、大韓帝国成立後の1899年に改めて義親王（義王）に封じられる。韓国「併合」後は日本の皇族に準じる「公族」の身分とされる。1919年、上海の大韓民国臨時政府に参加しようとしてソウルを脱出するが、中国東北地方側の国境・安東で捕らえられ送還された。インタビューに出てくる李鍋（1912～1945）は次男で、興宣大院君（高宗の父）の嫡孫・李垞の公位を継承し、1935

年に朴泳孝の孫娘である朴贊珠と結婚，陸軍中佐として広島で勤務中に被爆し死亡した。

*31 ハーグ密使事件

1907年6月，オランダのハーグで開催されていた第2回万国平和会議に当時の大韓帝国皇帝高宗が，密使として李相高（前参贊）・李儁（前平理院判事）・李瑋鍾（駐露公使館参事官）を送り，第2次日韓協約（保護条約）の無効＝外交権回復を訴える親書を提出しようとしたが，列強から会議への参加を拒否され，目的は達成できなかった。激怒した日本側により，高宗は強制的に退位させられ，かわって病弱だった皇太子が即位して純宗となった。

*32 ^{キムマンヒ}金萬希（1314～1404）

本貫は金海。高麗王朝末期の文官で，都僉議左政丞（今日の閣僚クラス）にまで昇進した。1392年，朝鮮王朝の建国者・太祖李成桂の任官の誘いを拒み，済州島に流配された。涯月浦で後進の教育にあたりつつ，悠々自適の生活を送った。

*33 大韓法律救助公団

韓国国民の基本権擁護，法律福祉増進を掲げ，1987年9月に設立。法律の知識が足りなかったり，経済的に困難で法的保護を受けられない人びとに対し，無料で法律相談，訴訟代理などの支援をしている。

*34 在外国民登録法

1949年11月公布。現行法は1999年12月に全面改正された。「在外国民」とは，外国で一定の場所に住所または居所を定めた者，20日以上滞在する者となっている。在外国民は定められた期間内に，一定の事項を所管の公館長へ申告しなければならず，申告しない場合は国民としての保護を停止されることもあるとされた。